

科目区分	専門分野	科目名	共通基本技術Ⅲ (看護の思考)	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30時間)	学 期	第2学期
担当講師	下田代智恵(臨床経験19年、教育経験13年)				
科目目標	1. 看護概念を実践に適用するためのプロセスを学び、科学的思考に基づいた看護の思考の基礎的知識・技術を学ぶ。 2. 看護としての問題解決思考を理解できる。				
授業計画	第1回 看護思考プロセスの概要 (講義) 1) 看護思考プロセスとは何か 2) 看護思考プロセスの構成要素 3) 看護思考プロセスの構成要素の相互作用 4) 看護思考プロセスの基盤となる考え方 第2回 情報整理の概要 (講義) 1) 情報収集とは 2) 情報収集の方法 アセスメントの枠組み (講義) 1) アセスメントとは何か 2) 情報の整理・解釈・分析 3) ゴードンの機能的健康パターンとクラスタリング 4) 事例提示 第3回 事例患者をイメージする (演習) 1) 必要な情報を考える 第4回～第8回 情報の整理とアセスメントの実際 (講義・演習)		第9回 看護問題の明確化(看護診断)の概要 (講義) 1) 看護診断とは何か 2) 看護診断の分類(NANDA) 3) 看護診断の種類 4) 看護問題と共同(医療)問題 第10回 看護問題の明確化(看護診断)の実際 (講義・演習) 1) 看護問題の明確化(看護診断)フォーカスアセスメント 第11回 看護問題の統合・関連図(講義) 1) 看護問題の統合とは 2) 関連図とは 3) 関連図の記述のルール 第12回 看護計画の概要(講義) 1) 看護計画とは 2) 期待される成果の明確化(RUMBAの法則) 3) 看護計画の立案 第13回 看護計画立案の実際 (演習) 第14回 看護経過記録の実際(講義) 1) 看護経過記録の意義 2) 実施後評価の意義・基準・方法 3) 看護経過記録の記述について(SOAP法) 第15回 まとめ、終了試験		
評価方法	筆記試験40点、課題レポート60点				
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学2、基礎看護技術I 医学書院、 ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 ニューヴェルヒロカワ NANDA看護診断 定義と分類2021-2023 医学書院、 患者さんの情報収集ガイドブック メヂカルフレンド社 系統別 観察・アセスメントガイド～病態関連図が書ける!～(改訂版) 照林社 参考図書 江川隆子のかみくだき看護診断 日総研				
講師からのメッセージ	形態と機能、疾病治療論、看護理論の既習学習を十分に活用して学ぶ。看護の思考プロセスについて、事例を展開しながらそのプロセスを体験的に学習する。 国家試験出題基準を確認し学習すること。				